

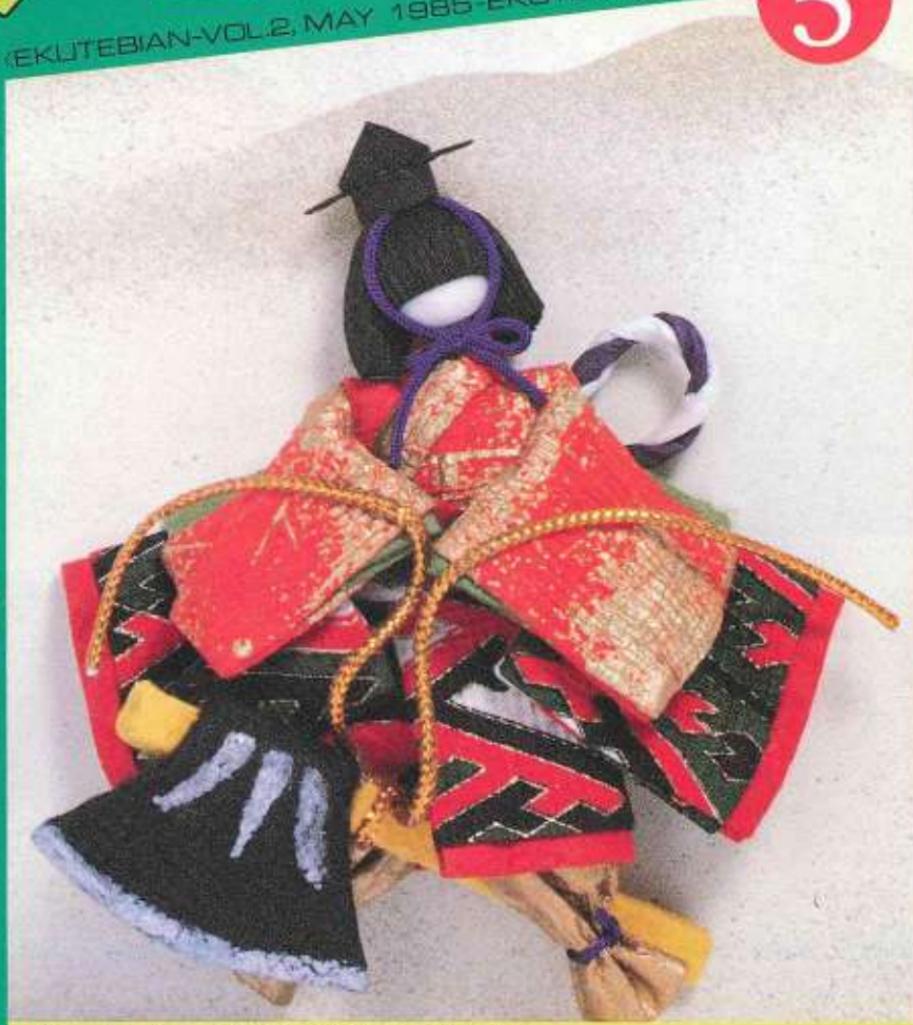
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくとびあん

EKUTEBIAN-VOL.2, MAY 1985 -EKUTEBIAN-

5



まい あーと ■ まさかり金太郎 by 斎木素子

来たら打て

えくてびあんレポート

## 打てば構えよ

Ping-pong

## 球の道

### ☆立川オーブン卓球選手権大会より☆

立川市民体育館の空気がビーンと張りつめていた。4回目をむかえた卓球選手権大会（主催・立川市、主管・立川市卓球連盟）はエントリー選手八百名をこえる、さながら“卓球王国”と化した――。



ジュニア女子準優勝の星野和枝（藤岡高）さん。



女子優勝・下加茂美穂さん（中央大学）のサーブ



男子優勝・小林史幸さんの  
ダイナミックなフォーム



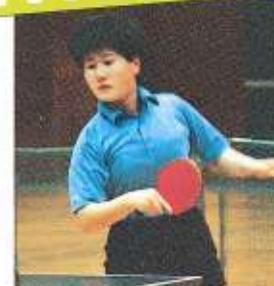
国際審判員の資格  
をもつ林田正治さんは72歳とはおもえぬ機敏な判断



女子準優勝は  
町田洋子さん  
(日体大) ▶



地域優勝に輝く増田朋子さん（真知苑）の力強いフォーム



ジュニア女子優勝は佐藤恵理子  
(東京文大杉並)さんのおえに輝く



「オープン戦としては全国的にみても一流の規模」(荻野会長)を誇るだけに全日本級の選手がその覇をきそった。繊細な神経と大胆な動きのハーモニーこそ優勝への最短距離か。

◆  
男子準優勝・岩崎清信さん（専修大学）の力強いフォーム



末藤康弘さん  
(日大農山)は  
男子ジュニアの優勝者 ▶



**ANA**  
**全日空**

## 立川の春を歩く

私の好きな散歩道

三田 鶴吉さん（譲町2丁目）

日本民俗学会員、立川市文化財委員、東京都鳥獣保護委員会会長、クリーン多摩川実行委員長

摩川の環境浄化に努力を続けられている。

そんな美しい三田さんにも、朝の一時心をなごませてくれる散歩道がある。朝六時に起床、のんびりと多摩川べりにペダルを踏んで数分、朝もやのかかつた静かな水面で水鳥が羽を休めている。はるか遠くには丹沢の山脈が、又近くには立川と日野を渡す日野橋が、そして中央線の鉄橋がほんやりと見える。

早朝というのに、水辺では、釣り

## 立川伝言板

☆昔話を見直しませんか？（5月

2日～7日、寺内重夫「語りとかち展」がIDPビル1階、アート

サロン四季で催されます。二十四点の銅版画、日本と西洋の語り継がれて来た昔話展。（☎27-4138）

☆子供の日、母の日に素敵なブレ

ゼント（ファミリー・レストラン・

ハピーモア立川店では5月5日の

子供の日に楽しいおもちゃをブレ

ゼント。また母の日にも素敵なブ

レゼントを用意しています。新規多摩バイパスぞい、駐車場完備。（☎27-3167）

☆酒でお悩みの方へ酒害相談会

深酒を断つための立川酒害相談会

が毎月第3日曜日午後1時より開かれています。連絡先は東京立川市斬酒新生会本部 沢本勇（立川市砂川町3-6-4 ☎37-1873）

☆日本映画史に残る諷刺喜劇の名

を楽しむ人達が釣糸をたれている。そんな日の前で20cm近くありそうなフナが釣り上げられ、三田さんは思わず目を細める。自然が蘇つてきた美感である。

多摩川を見おろし、野鳥を指さしながら教えてくれる。カルガモ、エリカモモ、カツツブリ、ヒバリ。

多摩川を見おろし、野鳥を指さ

しながら教えてくれる。カルガモ、

エリカモモ、カツツブリ、ヒバリ。

多摩川を見おろし、野鳥を指さ

ながら教えてくれる。カルガモ、

エリカモモ、カツツブリ、ヒバリ。

「ようこそ、協和へ」

笑顔のごあいさつ

街角から 協和銀行

カワセミの詩 当選の方々

青梅線は元は青梅鉄道という私

元有力者たちによる甲武鉄道の青

鉄だった。石炭山開発に熱い思い

を寄せる羽村の指田茂十郎をはじめとする発起人たちの願いと、地

を寄せた。羽村の指田茂十郎をはじめとする発起人たちの願いと、地

立川の線路（下） 中野 明

青梅線は元は青梅鉄道という私

鐵だつた。石炭山開発に熱い思い

を寄せた。羽村の指田茂十郎をはじめとする発起人たちの願いと、地

## 表紙は語る

彩人形を中心、「創作和紙人形」をこしらえている吉木さん。作るばかりでなく教える。國立公民館、毎週木曜日、問合せは

4月23日～85～5565。いつもがとうございました。次の方々が当選されました。黄品を送らせて頂きました。

赤坂孝子 石原誠一 岩谷信子 岩谷信子

大沢東夫 大山靖子 土井幸一 岩谷信子

高島義典 加藤義典 土井幸一 岩谷信子

中田明 中村仁 木島廣子 久保田義典

子五味 二ツ山美 松本葉子 志田義治

山崎三郎 山口幸一 山口信夫 和田義一

和田義一 渡辺義也 〔50音順・略称略〕

〔方ワセミの語をさみにされた中村仁さんが、さしあげます。〕

立川青年会議所の招きでお話しきした時のスナップです。私は壇上から話をすらよりも、皆さんの席まで降りていって一緒に「話し合つ」方が好きなので、この日もそうしましたら、ある婦人からいきなり花束を差し出され、驚くやうれしいやら。坊やがドキッとするような質問をしてくれまして、「田淵選手は打撃はすばらしかつたけど、守備の方はイマイチでした。どうしてですか?」——きひしいなあ、立川の子にはまあ、正直いいけど、答えの方はしんどかつたですわ。

